

令和7年度（津久井・定時制）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上 (服務規律の徹底)	教育公務員としての自覚や意識を高め、他かい倫理式の保持を図り、不祥事防止を未然に努める。	・職員打合せや職員会議等で、不祥事未然防止策について注意喚起し、職員どうしで確認することで公務内外に関わらず、教育公務員として高い倫理観を持ちながら服務規律を遵守することができた。
職場のハラスメント(パワハラ、セクハラ、マタハラ等)の防止	職員同士、お互いを尊重し、共感し、配慮できる良好な職場環境をつくり、職場における不祥事を防止する。	・お互いに支えあう土壌ができており、ハラスメントは特に見当たらなかったが、常に人権意識をもって尊重しあう職場づくりを継続していく。 ・風通しの良い職場環境であり、情報共有や意見交換が活発に行われて、相互理解を深める職場づくりができた。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	生徒の人権を尊重し、わいせつ、セクハラ事案を未然防止する。	・昨年度に引き続き、重点課題として取扱い、生徒とは常に適正な距離を心掛け、教育職員として逸脱する行動・言動のないよう注意した。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰や不適切な指導を未然に防止する。	・職員相互が注意できる環境をつくり、気になることは、すぐに報告・連絡・相談しやすい環境を整備できた。 ・生徒・保護者の気持ちや意見に寄り添いながら、教育相談・支援を中心とした指導体制を確立することができた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	マニュアルに基づく確実な処理で入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成における事故を防止する。	・入選業務マニュアルの見直し、改善を行うとともに、全日制との情報共有も行いながら、事故のリスクについてあらゆる場面を想定しながら事故防止に細心の注意を払うことができた。 ・進路については、個人情報の取扱いに注意し、生徒の進路希望の実現に努めた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の適正管理により、紛失・流失事故等を未然に防止する。	・個人情報を含む起案文書等は、外から見えないように配慮し、鍵のかかる場所に保管することを徹底して漏洩、ご廃棄、紛失を防ぐことができた。 ・個人情報の取扱いについても管理を徹底し、対策重要度ごとの個人情報の保管規定について周知を図り、適切に管理した。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通ルール・マナーを遵守し、交通違反、交通事故ゼロを継続する。	・普段から交通ルール遵守や事故の怖さについて職員室で話題に取り上げ、飲酒運転を絶対にしないということも含めて教育公務員として強い倫理意識を持たせることができた。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	情報共有と相互チェックを徹底し、業務執行上の事故を未然に防止する。	・グループ業務の見直しやマニュアルの見直しを進めて、共通理解を図るとともに、事故防止のためのチェック体制を確立して情報の共有を徹底した。 ・今後も業務の精選をし、働き方改革を推進していく。
財務事務調査指導等の適正執行	私費会計基準やマニュアルに則り、公費に準じた適正な事務処理、会計処理を執行する。	・マニュアルに基づいた帳票類の記載、管理を適切に行った。 ・会計担当者どうしで執行の手順を確認し、事務処理にミスが起こらないように徹底することができた。 ・執行状況を1カ月ごとにチェックし、帳票類の管理が適切に行われているかチェックした。